第43回 全国学童保育指導員学校

放課後児童支援員等の資質向上のための研修会

2018年6月17日(日)

南関東会場

会場：千葉県船橋市
〔全体会〕船橋市立船橋小学校体育館・中央公民館講堂
〔分科会〕勤労市民センター・中央公民館

主催：全国学童保育連絡協議会
千葉県学童保育連絡協議会
後援：千葉県(申請中)・船橋市

第43回 全国学童保育指導員学校 アクセス 南関東会場

一般駐車場はありません。
公共交通機関をご利用ください。

【全体会Ⓐ】■船橋市立船橋小学校体育館
〒273-0005　千葉県船橋市本町4丁目17-20
http://www.city.funabashi.lg.jp/gakkou/0001/funabashi-e/

【全体会Ⓑ】■船橋市中央公民館 講堂
〒273-0005　千葉県船橋市本町2丁目2-5(市民文化ホール)
http://www.city.funabashi.lg.jp/shisetsu/toshokankominkan/0002/0001/0001/p011020.html

【分科会】■船橋市勤労市民センター
〒273-0005　千葉県船橋市本町4丁目19-6
http://funabashi-ksc.or.jp/publics/index/2/

■船橋市中央公民館(全体会Ⓑと同じ場所)

●交通アクセス
JR船橋駅(南口)から徒歩約7分／京成船橋駅(東口)から徒歩約5分

4万人以上が読んでいる
唯一の学童保育月刊誌！
あなたも購読してみませんか？

「一人で悩まないで、子育てはみんなでしていこう」
「子どもは安心感のある生活のなかで、ゆっくり育っていくんだよ」
月刊『日本の学童ほいく』を読んで、語って、いっぱい広めよう!!

第43回 全国学童保育指導員学校 南関東会場

●とき　2018年6月17日(日) 9:20am.受付開始

●ところ　千葉県船橋市
〔全体会〕Ⓐ船橋市立船橋小学校体育館(上ばき必要)
Ⓑ中央公民館講堂
〔分科会〕勤労市民センター・中央公民館

●資料代　2,500円(税込)　◆お弁当の販売はありません

●内　容

日程	受付	全体会	昼食	講座(19教室)
	9:20	9:50	12:00	13:15〜16:00

全体会

●基調報告●
全国学童保育連絡協議会

●全体講義●

学童保育指導員に求められること・できること
〜子どもも保護者も指導員も笑顔でいられるために〜

【講師】
Ⓐ下浦忠治(東京成徳大学講師・元東京都品川区指導員)
Ⓑ高橋 誠(東京都文京区指導員・全国学童保育連絡協議会)

子育てを支えるって何をすることなのか。子どもの生活の場を保障するとはどういうことか。かかわりあって育ちあう子どもと保護者の笑顔を引き出す指導員のかかわりとは？　今日の状況下で、指導員に求められている役割を確認しましょう。

■お申込み

申込方法　千葉県学童保育連絡協議会のHPからお申し込みください。郵便振替の振込票をコピーして「全国指導員学校申し込み」と件名を記入し、郵便またはFAXで送ってください。誰の分を振り込んだのか、お名前と振り込んだ方のお名前、連絡先を必ずご記入ください。
受付専用FAX　：　050-3606-0925
お問い合わせ　：　メール　［chibagakudo@nifty.com］または、
ファクス［050-3730-6088］でお願いします。

申込期間　5月14日(月)〜6月2日(土)　申し込み期間が過ぎても、当日は受付可能

申込キャンセル　6月11日(月)までにご連絡があった方は返金いたします。

当日受付(参加)も可能です　申込期間後の参加申込みは当日受付にて、資料代2,500円をお支払いの上、領収書をお受け取りください。

団体でのお申込み
1.千葉県学童保育連絡協議会ホームページより団体申し込み専用EXCELファイルをダウンロードしてください。
2.全員のお申込み内容を記入して、メールに添付してお申込みください。

午後の講座は先着順　午後の講座には定員があります。先着順となりますので、希望の講座を受講できない場合があります。希望講座は第3希望までご記入ください。

●お申込み・お問合せ先は●

千葉県学童保育連絡協議会
〒273-0005　千葉県船橋市本町3-4-3 千葉保育センター内　✆047-424-8102
FAX　050-3606-0925(申込み受付専用)
FAX　050-3730-6088(問い合わせ専用)
郵便振替　00110-2-79615
口座名義　千葉県学童保育連絡協議会
Eメール　chibagakudo@nifty.com
申込み用ホームページ
http://www.geocities.jp/digicametyuunen/newpage1.html
Facebook　千葉県学童保育連絡協議会

お願い

○お弁当の販売はありません。
○全体講義の船橋小学校体育館は上履きが必要です。また、冷房はありません。
○午前中の受付は船橋小学校の体育館(2階)、午後は勤労市民センターです。
○保育：6月17日現在で4歳以上。特別な配慮が必要な方はお知らせください。
保育料500円　水筒を持たせてください。
○受講票が6月15日になっても届かない場合は、申し込み書、振込票を当日受付までお持ちください。

第43回 全国学童保育指導員学校 午後の講座 13:15～16:00

南関東会場

講師の敬称は略させていただきます。

基礎講座 －指導員として基本的な事項を学びます－

＊は「改訂テキスト学童保育指導員の仕事」で講座に対応する箇所です。
基礎講座は「テキスト学童保育指導員の仕事」を持参してください。当日資料として購入可能。800円。

1 学童保育とは何か、指導員の仕事・役割は何か

講師● 下浦忠治（全体講義講師）

学童保育は共働き、ひとり親家庭等の子どもたちに安心して共感しあえる生活を保障することで、保護者の労働、家庭の養育を支えています。指導員にはどの子も安心して学童保育の場に返ってこられるように、一人ひとりを理解し、生活の目当てが根付くよう寄り添う支援が求められます。この講座では、指導員の仕事・役割等について具体的に学びます。
＊第1課・第2課

2 学童保育の生活で大切にしたいこと

講師● 飛鳥井祐貴（神奈川県横須賀市指導員）

子どもたちはいろいろな思いをもって学童保育に帰ってきます。また夏休みなどは朝から学童保育で過ごします。指導員は、一人ひとりの子どもが安心してのびのびと生活できる場を子どもと一緒につくっていきます。学童保育での生き生きとした生活を保障していくための見通しを持った保育計画も含め、学童保育の生活で大切にしたいことを、子どもとのかかわりを中心に実践から学びます。
＊第3課・第4課・第7課2

3 学童保育の一日と指導員の仕事・毎日の実務

講師● 中澤直子（東京都武蔵野市指導員）

指導員の仕事とは何か、子どもたちの一日の生活をどのようなねらいを持ち、組み立てていくのか。そのためには打ち合わせや保育準備が必要です。指導員は、子どもたちの日々の生活を記録し、保護者に子どもの様子を伝え、学校や行政と連携しながら、保護者とともに子どものことを確かめあう大切さなど具体的な指導員の仕事と実務を学びます。
＊第4課・第6課

4 学童保育での日々の記録

講師● 八木晶子（神奈川県横浜市指導員）

なぜ記録が必要なのか。日々の子どもの様子、指導員のかかわりなどについて記録を取ることは指導員の仕事です。保育の中で起きたことや状況などは、あいまいな記憶ではなく毎日記録に残すことで、保護者に子どもの様子を伝えるときなどにも役に立ちます。継続的に記録を取るための工夫・配慮などについて学びます。
＊第7課1

実践講座 －指導員の仕事を実践的に学びます－

5 子どもの生活を保護者と伝えあう

講師● 清水純子（東京都目黒区指導員）

指導員として、保護者に子どもの様子を「伝える」時、何を大切にしていますか？　何を・どのように・どのタイミングで・なぜ伝えるのか。働きながらの子育てを支援するために、仕事として「伝える」ことの重要性、保護者との「伝えあい」をどう育むかを学びます。
＊第8課1

6 配慮を必要とする子どもを含めた生活づくり

講師● 田中一聖（東京都目黒区指導員）

今、障害のある子どもがいる学童保育は増えています。また、障害とは言えないけれど、「落ち着きがない」「すぐにカッとなる」「友だちと遊べない」など気になる子どもも増えています。指導員がその子どもへの理解を求めるのと同時に、周りの子どもたちへの理解を促すことも必要です。どの子どもも、ともに学童保育の仲間として育ちあうための配慮や働きかけ、保護者とのかかわりについて学びます。
＊第2課3・第3課2(4)

7 高学年を含めた生活づくり

講師● 内海洋子（神奈川県平塚市指導員）

学童保育は1年生から6年生までの生活の場です。それぞれの子どもの心に寄り添い、生活を保障し、通い続けられる居心地の良い場所であるためには、どのような配慮が必要とされるのでしょうか。高学年を含めた生活づくりについて学びます。
＊第3課2(3)

8 学童保育における安全を考える

講師● 根野善美（神奈川県平塚市指導員）

毎日を安全に安心して過ごすことは学童保育の基本です。学童保育の現場でどのようなケガや事故が起きやすいか。子どもたちと身に着けたい自分のからだを守る力とは何か。指導員が行う環境整備、安全対策、危機管理、緊急時の対応などについて学びます。
＊第5課

9 学童保育の生活とあそび

講師● 椎名智尚（神奈川県横須賀市指導員）

子どもにとってあそびは、何かのためにするのではなく、それ自体が目的です。子どもたちはあそびの中で、さまざまな発見を楽しんだり、人間関係を育んでいます。いっしょに喜び、悩む指導員がいるからこそ、子どもたちはより安心してあそびに夢中になれるのです。学童保育の生活のなかでのあそびの大切さとかかわり方を学びます。
＊第4課2

10 実践記録を検討する

講師● 高橋 誠（全体講義講師）

日々のことを記録し、指導員同士で記録を基にして実践を振り返り確かめることは、子どもたちの生活を作っていくうえで大切な仕事です。記録を基にして学びあうことの積み重ねが保育の向上につながります。実践を検討することの意味を学びつつ、当日は実際のレポートを使って検討します。
＊第10課4

11 指導員のチームワーク・職場づくり

講師● 永松範子（神奈川県横須賀市指導員）

子どもたちを一人ひとり丁寧にとらえ、かかわっていくために、指導員同士が子どもたちのことを語りあい、伝えあうことが必要です。また、指導員の動きや子どもへのかかわりをお互いに確かめあうことで、実践を高めていくことができます。仕事をする上でより良い職場を作っていくためにどうすれば良いかを学びます。
＊第11課2

理論講座 －子どものことをより深くとらえるために専門的に学びます－

12 発達障害の子どもたちの理解と支援

講師● 岸川 学（神奈川県立保健福祉大学助教）

発達障害のある子どもたちも学童保育に通ってきています。発達障害のある子どもの特性を理解し、どう支援していくか。他児への理解やつながりをどのようにつけていくか。学童保育の中で何ができるかを学びます。
＊第2課3

13 子どもの発達の仕組みを学ぶ

講師● 荒井育恵（私立大宮開成中学高等学校養護教諭）

学童保育は1年生から6年生までの子どもたちの異年齢集団です。それぞれの身体的、精神的発達の特徴を理解し、目の前の子どもたちが表現している行動や言葉の裏にあるものを受け止めることが求められます。一人ひとりの子どもたちの成長をどう支えていくか、子どもの発達の仕組みについて学びます。
＊第2課2

14 学童保育での人権と職業倫理

講師● 新田哲男（東京都墨田区社会福祉会館長）

知らず知らずのうちに子どもを傷つけていませんか？　良かれと思ってしているあなたの行動が、もしかすると子どもを傷つけているかもしれません。子どもの人権を守るために指導員として必要な職業倫理について学びます。
＊第1課2・第2課1・第11課1

15 学童保育における家族支援

講師● 安井飛鳥（弁護士・社会福祉士）

非正規労働者の増大、経済的困難を抱える家庭が増えています。子どもたちへの影響は？　ライフチャンスや親子のふれあう時間にも格差が生まれ、不安感・孤立感・自己評価の低落を招きます。「不利の雪だるま」を防ぐために、学童保育指導員は何ができるのか。求められる気付き、支援の手立て、関係機関との連携を学びます。
＊第2課3(2)・第3課2(5)・第9課4～5

16 学童期の子どもと性

講師● 渡辺大輔（埼玉大学基盤教育研究センター准教授）

子どもが大人になる過程で起こる身体的な変化として第二次性徴があります。個人差はあるものの、心にもからだにも変化が訪れる時期です。答えにくいことを聞かれて困ることもありますが、本当に必要なことは子どもが自分のからだについて知ることです。「からだのことで分からないことや困ったことがあったら、いつでも聞いて良いのだ」という安心感を子どもに与えられるよう学びます。
＊第2課2(1)

実技講座 －指導員として必要な実技を学びます－

17 救急法を学ぶ

講師● 日本赤十字社千葉県支部

子どもの命を預かる指導員の基礎知識として救急法を身に着けることは不可欠です。いざという時の対応の一つとして、心肺蘇生法、AEDの使い方、包帯法、飲み込んだ異物の除去法などを学びます。

18 つくってあそぼう

講師● 荒牧光子（遊び塾「はらっぱ」主宰）

子どもたちは学童保育の生活のなかで、身近な材料で簡単につくる工作や、季節ごとにつくる工作を楽しんでいます。実際につくるときのやりとりや、つくったもので遊ぶ楽しさを学びます。

特別講座 －学童保育をめぐる情勢と課題、指導員の労働条件改善など運動に関わる問題を考えます－

19 学童保育と指導員をめぐる情勢と課題

講師● 小野さとみ（東京都町田市指導員・全国学童保育連絡協議会）

子ども・子育て支援新制度が始まり、5年間の「事業計画」の折り返しを迎えました。学童保育を取り巻く国の動きを理解し、新制度で学童保育は何が変わり、どう変わっていくのか、今後のあり方について学びます。これからの学童保育をより良くするために何が必要か考えていきましょう。
＊第1課4・第10課1・第12課

キリトリ

第43回 全国学童保育指導員学校南関東会場参加申込書

（フリガナ） 申込者氏名		指導員歴 参加回数	年目 はじめて ／ 回目
		お立場	保護者（OB含む） その他（ ）
受講票送り先（送付先が職場の場合、必ず学童保育名をご記入ください） 職場・自宅（〒 － ）		学童保育所名・所在地 学童保育所名 都道府県・市区町村	
電話番号	講座変更など確認のために連絡する場合がありますので、昼間連絡の取れる連絡先をご記入ください ［自宅・職場・携帯］ （ ） －		
Eメール	@		
全体会希望	A・B どちらかに○をして下さい	講座（午後）	第1（ ） 第2（ ） 第3（ ） 必ず第3希望までお書きください
保育希望	なし・あり（ 歳）（ ）人 ●特記事項・アレルギーなど		
送金日（ ／ ）・送金額（¥	内訳 ）		

- HP（http://www.geocities.jp/digicametyuunen/newpage1.html）からの申込みにご協力お願いします。
- HPからのお申込みが困難な場合は、申込書の内容をメールで送信いただくか、受付専用FAXまたは郵送で申込書を拡大コピーをしてご送付ください。
- FAX・郵送の場合は、昼間連絡が取れる手段（メールアドレスと電話番号）をご明記ください。
- その他、申込み手順等詳細は、本リーフレットの「■**お申込み**」をご参照ください。
- 保育料も資料代と一緒にお振込みください。また、その旨、送金額の［内訳］にてお知らせください。

ご記入いただいた個人情報は、本指導員学校運営に関する業務、および、各種研修会等の受講案内に関する業務に必要な範囲で、全国学童保育連絡協議会の管理責任のもと、本指導員学校を主催する各連絡協議会と共同利用いたします。本人の許可なく第三者への提供は行いません。（詳しくは全国学童保育連絡協議会ホームページをごらんください）